

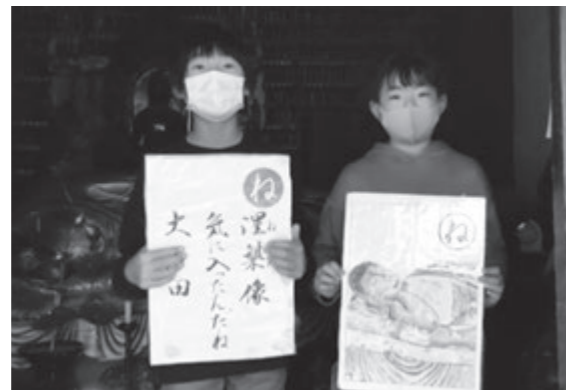
## 北村山自作視聴覚教材コンクールで南小の作品が特選に輝く

**第**42回北村山地区自作視聴覚教材コンクールにおいて、南小の令和3年度4年生が制作した「大石田笑顔満開プロジェクト」が特選に選ばれました。

大変おめでとうございます。

「大石田笑顔満開プロジェクト」は、「大石田かるた」を通して町の良さを知った子どもたちが、町の良さを多くの人に知ってもらうことをテーマにして制作された作品です。作品では、かるたに読まれた食べ物や観光名所を訪問して、お店の方や地域の方にインタビューを行い、研究しています。

作品は町公式YouTubeチャンネルで見ることができます。右の二次元コードからアクセスいただき、ご覧ください。



▲動画へのアクセスはこちらの二次元コードから(町公式YouTube)



## 令和9年度小学校統合見据えサンスタディ教科版始まる

**町**内3小学校の同じ学年の児童と一緒に学習するサンスタディが、1月25日(水)に南小で行われました。

サンスタディとは、町内3小学校の児童が太陽のように明るく健やかに育つようにという願いを込めて名付けられ、これまでは、大石田の名所めぐりやギフトチョウ・ヒメギフトチョウの観察、自然薯の定植～収穫など、大石田にちなんだ体験学習を中心に行われてきました。今年度からは、令和9年度の小学校統合や児童の学力向上・担任の学習指導力向上など

も見据えて、国語や算数などの教科科目の学習を行う「サンスタディ教科版」が始まりました。

慣れない環境のため、どの学年もはじめは少し緊張気味でしたが、アイスブレイクを通して次第に打ち解け笑顔になり、良い雰囲気の中で考えを伝え合うことができていました。

参加した児童は、「最初不安だったけど、他の学校の人がたくさん意見を出してくれたので話しやすかったです。アイスブレイクでやった「アドジャン」や自己紹介もあったので良かったです。朗読の時も心を合わせてできたと思うので良かったです。中学校が楽しみです」と話していました。



## 南小児童が和琴を体験

**和**琴の出前学習が、2月10日(金)に南小で行われ、5・6年児童20人が参加しました。これは、和琴サークル「琴音サークル」(永登節子代表)の協力で行われたものです。

この日は、最初に琴音サークルのメンバーによる琴の演奏が行われました。演奏された曲は、「うれしいひな祭り」や「荒城の月」、「さくら」で、教室には琴の華やかな音色が響き渡っていました。

授業の最後には児童が琴の演奏に挑戦しました。児童は、初めて触れる琴に苦戦しながらも、楽しそうに演奏していました。

小内英海さん(6年)は、「先生方の演奏はすごく上手で心に残りました。指導していただいてありがとうございました」と話していました。



## 親子で本に親しんで一緒にさがそう!ひたろう!絵本ハンター

**読**育推進連携講座「一緒にさがそう!ひたろう!絵本ハンター」が、2月5日(日)に虹のプラザで行われました。これは、県教育委員会が主催するイベントで、本の読み聞かせやビンゴゲーム、ものづくりを通して、親子で本に親しんでもらおうと企画されたものです。

本の読み聞かせは、子育てサークル「小さなおもちゃばこの会」(吾妻満代表)の協力で行われ、メンバーが冬と節分をテーマに2作品を感情豊かに読み上げました。子どもたちは物語の展開に目を輝かせながら聴き入っていました。

最後は工作の時間が設けられ、折り紙や紙コップなどの定番の工作素材のほか、松ぼっくりなどの自然素材も使って、親子で楽しく作品を作り上げました。



## 南小で米の収穫感謝祭 地域の先生に感謝伝える

**米**の収穫感謝祭が、1月23日(月)に南小で行われ、5年生児童や地域の住民など19人が参加しました。南小では地域と共に歩む学校をテーマに地域住民(地域の先生)の協力のもと、稲作やそばなどの農業体験や大黒舞の練習を行っています。

この日は、児童が米の生育観察をまとめた研究発表や、大黒舞の披露、手作りおにぎりの振る舞いなどが行われました。大黒舞を指導したのは木村和夫さん(下宿・黒滝)と遠藤廣吉さん(下宿・黒滝)の2人で、おにぎりに使用した米は、横山地域農地・水・環境保全組織田沢部会(森秀雄会長)に協力いただき、児童が田植えから脱穀まで行ったものです。森会長は「とても美味しいです」と手作りの料理と児童との交流を楽しんでいました。



## 箱根駅伝から学ぶ成長の秘訣語る 青学大陸上競技部 原晋監督講演会

**青**山学院大学陸上競技部の原晋監督の講演会が、2月8日(水)に虹のプラザ「なないろホール」で行われました。今では箱根駅伝優勝常連校になった青学陸上競技部。ですが、昭和51年の52回大会への参加以降、原監督就任前までは長らく箱根路から遠ざかっていました。

講演会では、原監督自身の競技経験や指導経験から「与えられた環境の中で成長すること」、「他者の責任にせず、挑戦する覚悟を持つこと」、「自己の現状分析をし、未来志向で考えることの重要性」について語られました。

参加者は、原監督の経験に基づいた貴重な話に熱心に聞き入っていました。